

平成25年度 事業報告

「第2期地域福祉活動計画」が最終年度を迎え、これまでの取り組みの総括と課題等についての整理を行い、その結果を踏まえた上で、更なる発展強化を目指し、平成26年度から5ヵ年の計画となる「第3期地域福祉活動計画」を策定しました。策定にあたっては、「地域住民懇談会」や「種別会員アンケート調査」を実施し、地域の中にある福祉的課題や区社協に対する意見等を集約することで、地域に身近な法人格を持つ社協として区社協が果たすべき役割と、地域の皆様と共に取り組む福祉的課題の方向性が明確となり、より実態に即した計画策定を行うことができました。

また、第2期計画に掲げられていた会員と会費の見直しを行うため、「会員及び会費等検討委員会」を発足し、持続可能な組織基盤となる会員・会費制度について検討を行いました。

老人いこいの家指定管理については、区社協が今後も指定管理者として事業を継続していくか、慎重に協議を重ねた結果、指定管理者として責任を果たせる体制が取れることを条件に、次年度から5年間の新たな指定管理期間においても指定管理者となるよう申請を行ったところ、川崎市より区内7館の老人いこいの家指定管理者として指定されるに至りました。

移送・送迎サービス事業においては、収支の実態や活動状況、同様のサービスを行う他事業者とのバランスを考慮した結果、次年度から利用料金の改定を含む見直しを図ることになりました。

この他、今年度も地域福祉の推進にあたり、各地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、町会・自治会、関係機関等と連携を図りながら、区民の皆様と共に様々な地域福祉事業を実施しました。

1 <区民の理解・協力を得られる組織運営の強化> つとめる

(1) 法人運営の強化

ア 適正な法人運営

NO.	実施事業	H25
—	理事会及び部門別担当理事会の開催	継続
—	監事会の開催	継続
—	評議員会の開催	継続
—	正副会長会議の開催	継続
—	会員及び会費等検討委員会の開催	実施
—	実習生及び視察・見学の受入れ	継続

理事会、担当理事会、監事会及び評議員会を開催し、適正かつ円滑な法人運営及び事業活動の推進を図りました。

また、定款第19条に基づき、新たに会員及び会費等検討委員会を設置し、あらためて多摩区社会福祉協議会の役割を確認し、会員の対象範囲や責務と権利について検討しました。なお、26年度以降も会員の種別や会費額について引き続き検討してまいります。

この他、日本女子大学から社会福祉士の相談援助実習の実習生と、聖マリアンナ医科大学看護専門学校看護学生の実習と体験学習の受入れを行い、社会福祉実践の学習の場を提供し、福祉人材養成等の協力支援に努めました。

(ア) 理事会

期 日	内 容	会 場
5月24日	①平成24年度事業報告並びに一般会計資金収支決算報告について 監事監査報告 ②評議員の選任について 出席：理事9名 監事1名	福祉パルたま
7月31日	①入会の承認について ②老人いこいの家指定管理について ③評議員の選任について 出席：理事12名 監事2名	福祉パルたま
10月15日	①平成25年度一般会計補正予算(案)について ②入会の承認について ③報告事項 ・地域住民懇談会開催報告について ・第2期地域福祉活動計画の評価について 出席：理事12名 監事3名	多摩市民館 第5会議室
12月26日	①評議員の選任について ②経理規程の一部改正について ③第3期地域福祉活動計画の骨子案について ④入会の承認について ⑤報告事項 ・川崎市社協地域部会主催「川崎市内区社協役員職員セミナー」について ・第6回多摩区社会福祉大会について ・老人いこいの家次期指定管理者申請と結果について 出席：理事13名・監事3名	福祉パルたま
3月14日	①平成25年度一般会計第2次補正予算(案)について ②評議員の選任について ③第3期地域福祉活動計画策定(案)について ④平成26年度事業計画及び一般会計資金収支予算(案)について ⑤報告事項 ・第6回多摩区社会福祉大会開催報告について ・第7回多摩区社会福祉大会について 出席：理事11名・監事3名	福祉パルたま

(イ) 担当理事会

・法人運営部門

期 日	内 容	会 場
9月25日	①地域住民懇談会の開催報告について ②平成25年度事業進ちょく状況及び第2期計画の評価と第3期計画各事業の方向性について ③その他 老人いこいの家指定管理申請について 出席：4名	福祉パルたま

12月9日	①第3期地域福祉活動計画について ②その他 老人いこいの家指定管理申請の結果について 出席：3名	福祉パルたま
-------	--	--------

・地域福祉活動推進部門

期 日	内 容	会 場
9月26日	①地域住民懇談会の開催報告について ②平成25年度事業進ちょく状況及び第2期計画の評価と第3期計画各事業の方向性について ③その他 老人いこいの家指定管理申請について 出席：4名	福祉パルたま
12月5日	①第3期地域福祉活動計画について ②その他 老人いこいの家指定管理申請の結果について 出席：5名	福祉パルたま

・福祉サービス利用支援部門・在宅福祉サービス部門（合同）

期 日	内 容	会 場
9月24日	①地域住民懇談会の開催報告について ②平成25年度事業進ちょく状況及び第2期計画の評価と第3期計画各事業の方向性について ③その他 老人いこいの家指定管理申請について 出席：3名	多摩市民館 第4会議室
12月6日	①第3期地域福祉活動計画について ②その他 老人いこいの家指定管理申請の結果について 出席：4名	福祉パルたま

(ウ) 監事会

期 日	内 容	会 場
5月13日	平成24年度事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の監査 出席：監事 2名	福祉パルたま

(エ) 評議員会

期 日	内 容	会 場
5月28日	①平成24年度事業報告並びに一般会計資金収支決算報告について 監事監査報告 ② 監事の選任について	福祉パルたま

	③報告事項 ・会員及び会費等検討委員会について 出席：評議員 26 名 正副会長 1 名 監事 1 名	
7 月 30 日	①理事の選任について（文書審議） 回答数：評議員 33 名	福祉パルたま
10 月 31 日	①平成 25 年度一般会計補正予算（案）について ②報告事項 ・地域住民懇談会の開催報告について ・第 2 期地域福祉活動計画の評価について ・老人いこいの家指定管理者申請について 出席：評議員 33 名 正副会長 2 名 監事 1 名	福祉パルたま
3 月 26 日	①平成 25 年度一般会計第 2 次補正予算（案）について ②理事・監事の選任について ③第 3 期地域福祉活動計画策定（案）について ④平成 26 年度事業計画及び一般会計資金収支予算（案）について ⑤報告事項 ・第 6 回多摩区社会福祉大会開催報告について 出席：評議員 36 名 正副会長 3 名 監事 2 名	福祉パルたま

(オ) 多摩区社会福祉協議会正副会長会議

期 日	内 容	会 場
8 月 6 日	次期老人いこいの家指定管理について 出席：正副会長 3 名	福祉パルたま

(カ) 会員及び会費等検討委員会

期 日	内 容	会 場
9 月 6 日	①正副会長の選出について ②区社協の現状と課題について 出席：9 名	福祉パルたま
11 月 15 日	①多摩区社会福祉協議会の役割について 出席：6 名	福祉パルたま
2 月 3 日	①会員の対象範囲について ②会員の責務と権利について 出席：10 名	福祉パルたま

(キ) 実習生及び視察・見学の受入れ

	学 校 名	実習期間・人数
1	日本女子大学社会福祉学科 4 年	9 月 17 日から 10 月 24 日まで (計 26 日間) 1 名

2	聖マリアンナ医科大学看護専門学校1年	9月30日、10月1日 (2日間) 32名 ※老人いこいの家にて受入れ
---	--------------------	---

イ 会員・賛助会員の充実

NO.	実施事業	H25
1	会員、会費の見直し(前掲)	実施
	新規会員の募集	実施
—	種別会議の開催	実施
2	賛助会員の募集	実施
	協力依頼や募集方法等の見直しによる賛助会費の増強	継続
	賛助会員に関する協力団体との情報共有	継続

賛助会員の募集については、区・地区社会福祉協議会の事業活動を推進する自主財源づくりのため、地区社会福祉協議会を通じて、町会・自治会及び民生委員児童委員等地域の方々のご協力により募集しました。新規会員の募集にあたっては、福祉パルたま内の窓口や研修室等、来館者の目に入る場所に広報用チラシを掲示するとともに、福祉パルたまを利用している団体・グループに呼び掛けをしました。

また、今年度も多摩区社会福祉大会でのスライドショーや多摩区民祭にて、賛助会員の広報及び募集を行いました。

(ア) 種別会議(第6・7種会議)

期 日	内 容	会 場
7月4日	①社協事業報告及び事業計画について ②各種委員の選出について ③寄付金品配分委員会の配分事業計画について ④第3期地域福祉活動計画の種別アンケートについて ⑤情報交換 出席：17団体 17名	福祉パルたま
2月12日	①第3期地域福祉活動計画について ②理事・評議委員候補者の選出について ③活動助成金の報告書提出について ③区社協HPの記事について ④情報交換 出席：14団体 15名	多摩市民館 第6会議室

(イ) 賛助会員募集実績

()内は前年度実績

地 区	件 数	実 績 額
登戸地区	570件 (574件)	1,047,280円 (1,028,787円)
菅地区	773件 (785件)	914,000円 (920,500円)
中野島地区	303件 (316件)	476,000円 (499,000円)

稲田地区	925 件 (946 件)	1,253,500 円 (1,247,000 円)
生田地区	1,758 件 (1,844 件)	2,467,500 円 (2,536,500 円)
合 計	4,329 件 (4,465 件)	6,158,280 円 (6,231,787 円)

ウ 自主財源の造成

NO.	実施事業	H25
3	パンフレットの作成	継続
	広報及び協力者の拡充	実施
	イベントでの広報活動	継続
	新たな財源の確保	継続
	行事助成についての見直し	継続
	寄付金品配分委員会の開催	継続

広報活動の一環として、多摩区社会福祉大会や各種おまつり等のイベントで活動PRスライドショーの上映やパンフレット等の配布を行い、賛助会員への新規加入の呼び掛け、寄付金の募集等を行い、協力者の拡充に繋がるよう努めました。

(ア) 寄付金品配分委員会

助成事業の継続した実施を図るため、各種助成金の助成額の検討や今後の安定した事業運営に向けた協議を行いました。併せて、寄付金品の受入れ及び配分に関するパンフレットの内容を見直しました。

期 日	内 容	会 場
6 月 19 日	① 寄付金品の受入れ及び配分状況報告について ・平成 24 年度寄付金品の受入れ及び配分状況報告 ・平成 25 年度寄付金品の受入れ及び配分状況報告 ②平成 25 年度活動助成金の交付について 出席：9 名	福祉パルたま

(イ) 寄付金品の受入れ及び配分

区民の方や団体等から寄付金品を受入れ、「寄付金品配分委員会」に諮って福祉施設及び団体、ボランティアグループ等へ配分しました。また、相談者からの要望に応じて区内の福祉施設等へ情報提供を行い、寄付者と受入者の橋渡しを行いました。

受 入	寄付金	16 件	1,391,516 円 (指定寄付 29,600 円、一般寄付 1,361,916 円)
	寄付品	17 件	生活物品、毛布、車椅子 4 台、雑巾、手芸用品 手話の本、パソコン一式
配 分	寄付金	45 頁掲載	

	寄付品	区内老人いこいの家、区内福祉施設等
--	-----	-------------------

エ 苦情解決への対応

NO.	実施事業	H25
4	苦情の受付と適切な対応・解決	継続
	全市的・統一的な対応が取れる仕組み作りの検討	継続
—	苦情への対応内容の公開	継続

社会福祉法に基づいて、サービス利用者や区民等からの苦情に対しての受付体制を明示し、法人運営の信頼性を高めるとともに、寄せられた意見を職員が共有し、その解決に努めました。

全市的・統一的な対応が取れる仕組み作りの検討については、今後も各区の社会福祉協議会と情報の共有を図りながら進めてまいります。

オ 職員の研修

NO.	実施事業	H25
5	区社協実施事業の理解	継続
	地区社協との連携強化	継続
	自主研修の実施	継続
—	事務局体制の充実強化	継続

職員を中心に、関係機関・団体が開催した各種会議及び研修会に参加し、情報の収集や資質の向上等に努めました。

また、生活福祉資金貸付制度について、職員の理解を深めるために勉強会を開催しました。

カ 地域福祉活動計画の推進

NO.	実施事業	H25
6	担当理事会の開催	継続
	意見交換の実施	継続
	概要版リーフレットの作成	継続
—	地域住民懇談会の開催	実施
—	種別会員アンケートの実施	実施
—	第3期地域福祉活動計画の策定	実施

担当理事会を開催し、「第2期地域福祉活動計画」での事業の進ちょく状況を報告、その取り組みの方向性を確認しながら各種事業の運営を行いました。

「第2期地域福祉活動計画」の計画期間が本年度で最終年を迎えたため、過去5ヶ年の取り組みについて振り返り、その総括としてこれまでの取り組みの評価及び反省を行い、今後の取り組みについての方向性をまとめました。

また、「第3期地域福祉活動計画」の策定にあたっては、「周知と発展整理」をテーマに、第1期及び第2期の地域福祉活動計画への評価や課題を踏まえた上で、本年度に実施した地域住民懇談会、種別会員へのアンケート調査等から把握した地域の課題、要望をまとめ、本会としての取り組みの方向性を整理し、活動の更なる発展・強化に向

けた検討を進めました。

策定した「第3期地域福祉活動計画」では、これまでの計画で掲げた基本理念及び基本目標を引き継ぎつつ更に発展させていくと共に、本計画から新たに重点取組の項目を設け、計画期間中に特に重点的に進めていく事業として「広報啓発」、「ボランティア活動」、「福祉教育」、「移送・送迎サービス」、「会員・会費制度」の5つを掲げ、それぞれの方向性と進め方を明確に示しました。

(ア) 地域住民懇談会の開催

実施期間：平成25年7月から8月まで

開催回数：5回（稲田・生田・中野島・菅・登戸地区で各1回）

参加者：82名（地区社協、民生委員児童委員、町会・自治会、老人クラブ、個人他）

実施タイトル：いま地域に必要な支え合い、一緒に考えませんか？

実施方法：フリートーク形式での意見交換を中心に実施

地区	開催日時		会場	参加者
稲田地区	7月20日(土)	19:00～20:30	宿河原会館	22名
生田地区	8月5日(月)	14:00～15:45	生田出張所	10名
中野島地区	8月19日(月)	11:00～12:30	中野島会館	17名
菅地区	8月21日(水)	10:00～11:30	菅会館	13名
登戸地区	8月30日(金)	10:00～11:30	多摩市民館	20名

(イ) 種別会員アンケートの実施

実施期間：平成25年6月から7月まで

対象者：第1種から第10種までの各種別会員及びその構成員

回答状況：依頼件数232件／回答件数87件（回収率37.5%）

(ウ) 第3期地域福祉活動計画の策定

《基本理念》

地域と協働に進める 福祉充実への着実な一歩

《基本目標》

- 1 「知ること」から「行動」へ
- 2 「情報」と「地域的支援」を届ける
- 3 地域的支援を進める「輪」の強化

《重点取組》

- 1 福祉情報紙とホームページの内容の充実による情報の的確な発信と広報活動の質の向上
- 2 ボランティアに関する相談の受付体制と活動に繋げていくための相談支援の更なる強化
- 3 学校と地域との連携による子どもから大人までを対象とした福祉の学びの機会作り
- 4 移送・送迎サービス事業の新たな展開と地域でのネットワークの構築
- 5 区内の福祉関係団体の社協活動への参画を目指した会員・会費制度の実施

2 《区民の福祉理解の推進と福祉活動の振興》 しらせる・すすめる

(1) ボランティア活動の推進

NO.	実施事業	H25
7	多摩区ボランティアセンター運営委員会の開催	継続
	多摩区ボランティアセンター運営委員の研修会の開催	継続
	多摩区ボランティアセンターの運営支援	継続
	※上記実施事業は、事業 NO.25「人材の発掘・育成・組織化」の具体的な事業展開	
8	ボランティア相談支援事業	継続
	地域に身近な相談窓口の設置の検討	継続
9	ボランティア情報誌「たまぼら」の発行	継続
	ホームページへの掲載	継続
	区社会福祉協議会の広報紙との連携	継続
	講座開催事業	継続
10	ボランティア入門講座の開催	
	お話し相手ボランティア養成講座の開催	
	チャレボラ「2013」への協力	
	新規講座開催の検討	
	ボランティア交流会の開催	
	ニーズの発掘	
※上記実施事業は、事業 NO.25「人材の発掘・育成・組織化」の具体的な事業展開		
11	「災害ボランティアセンター設置時の対応と課題」冊子の周知	継続
	災害ボランティアコーディネーターの養成	検討

ア 多摩区ボランティアセンター

(ア) 多摩区ボランティアセンター運営委員会

今年度は、第5期運営委員が任期満了となる2年目を迎え、18名の運営委員による主体的な事業の企画・運営をすすめました。

期 日	内 容	会 場
4月25日 (第1回)	<報告事項> ①多摩区ボランティアセンター事業計画について ②運営委員会の開催日程について <検討事項> ①担当事業の確認について ②ボランティア入門講座について ③チャレボラ2013について ④～たまぼらひろば～について 出席：運営委員15名 担当理事1名 事務局1名	福祉パルたま
5月23日 (第2回)	<報告事項> ①平成24年度事業報告について ②ボランティア情報誌「たまぼら」について ③～たまぼらひろば～について ④新規講座開催の検討について	福祉パルたま

	<p>< 検討事項 ></p> <p>① ボランティア入門講座について</p> <p>② ～たまぼらひろば～について</p> <p>③ ボランティア情報誌「たまぼら」について</p> <p>④ ボランティアコーディネーター研修について</p> <p>出席：運営委員 15 名 担当理事 1 名 事務局 1 名</p>	
6 月 27 日 (第 3 回)	<p>< 報告事項 ></p> <p>① 新規講座開催の検討について</p> <p>② ボランティアコーディネーター研修について</p> <p>< 検討事項 ></p> <p>① チャレボラ 2013 について</p> <p>② お話し相手（傾聴）ボランティア講座について</p> <p>③ ボランティア交流会について</p> <p>出席：運営委員 15 名 担当理事 1 名 事務局 1 名</p>	福祉パルたま
8 月 22 日 (第 4 回)	<p>< 報告事項 ></p> <p>① ボランティア情報誌「たまぼら」について</p> <p>② ～たまぼらひろば～について</p> <p>③ チャレボラ 2013 について</p> <p>< 検討事項 ></p> <p>① ボランティア入門講座について</p> <p>② ボランティア交流会について</p> <p>③ お話し相手（傾聴）ボランティア講座について</p> <p>④ ボランティア情報誌「たまぼら」について</p> <p>出席：運営委員 15 名 担当理事 1 名 事務局 1 名</p>	福祉パルたま
10 月 24 日 (第 5 回)	<p>< 報告事項 ></p> <p>① ボランティア情報誌「たまぼら」について</p> <p>② ～たまぼらひろば～について</p> <p>③ ボランティア入門講座について</p> <p>④ お話し相手（傾聴）ボランティア入門講座について</p> <p>< 検討事項 ></p> <p>① 災害ボランティアについて</p> <p>② ボランティア交流会について</p> <p>③ ボランティア情報誌「たまぼら」について</p> <p>④ 多摩区ボランティアセンター運営委員研修会について</p> <p>出席：運営委員 16 名 担当理事 1 名 事務局 1 名</p>	福祉パルたま

<p>11月28日 (第6回)</p>	<p><報告事項> ①～たまぼらひろば～について ②ボランティア情報誌「たまぼら」について ③ボランティア入門講座について ④お話し相手(傾聴)ボランティア入門講座について <検討事項> ①災害ボランティア事業について ②ボランティア情報誌「たまぼら」について ③ボランティア交流会について ④多摩区ボランティアセンター運営委員研修会について 出席：運営委員13名 担当理事1名 事務局1名</p>	<p>福祉パルたま</p>
<p>1月23日 (第7回)</p>	<p><報告事項> ①傾聴施設体験事前説明会について ②多摩区防災フェアについて ③ボランティア情報誌「たまぼら」について <検討事項> ①ボランティア交流会について ②災害ボランティアセンターの設置と役割を学ぼう！について ③多摩区ボランティアセンター運営委員研修会について ④チャレボラ2014への参加について ⑤運営委員の構成について ⑥次年度計画について ⑦ボランティア入門講座について ⑧傾聴フォローアップ講座について 出席：運営委員15名 担当理事1名 事務局1名</p>	<p>福祉パルたま</p>
<p>2月27日 (第8回)</p>	<p><報告事項> ①ボランティア交流会について ②～たまぼらひろば～について ③災害ボランティアセンターの設置と役割を学ぼう！について ④多摩区ボランティアセンター運営委員研修会について <検討事項> ①ボランティア入門講座について ②市・区社協ボランティアセンター運営委員懇談会について ③ボランティア情報誌「たまぼら」について ④傾聴フォローアップ講座について ⑤チャレボラ2014への参加について ⑥次年度からの多摩区ボランティアセンターについて 出席：運営委員11名 担当理事1名 事務局1名</p>	<p>福祉パルたま</p>

3月27日 (第9回)	<報告事項> ①ボランティア入門講座について ②市・区社協ボランティアセンター運営委員懇談会について ③傾聴施設体験振返りにについて ④ボランティア情報誌「たまぼら」について ⑤～たまぼらひろば～について ⑥傾聴フォローアップ講座について <検討事項> ①次年度計画について ②チャレボラ 2014 について ③振り返り 出席：運営委員 14名 担当理事 1名 事務局 1名	福祉パルたま
----------------	--	--------

(イ) 多摩区ボランティアセンター運営委員研修

・多摩区ボランティアセンター運営委員研修会

次年度の事業計画及び講座開催に向けたヒントやアイデアを探ることを目的に、調布市と青葉区のボランティアセンターを訪問し、意見交換を行いました。

期 日	内 容 等	会 場
2月6日	「調布市市民活動支援センターとの意見交換」 出席：運営委員 9名 事務局 1名	調布市市民活動支援センター
2月13日	「あおばボランティアセンターとの意見交換」 出席：運営委員 10名 担当理事 1名 事務局 1名	あおばボランティアセンター

・市、区社会福祉協議会のボランティアセンター運営委員懇談会への参加

市内各区社会福祉協議会のボランティアセンターのより一層の活性化を図るため、今回は「ボランティアセンターを広く地域に知ってもらうには～利用しやすいボランティアセンターに向けて～」をテーマに運営委員懇談会が開催され、本会のボランティアセンター運営委員1名と担当理事1名が参加しました。

期 日	内 容 等	会 場
3月5日	市・区社会福祉協議会のボランティアセンター運営委員懇談会 出席：運営委員 1名 担当理事 1名 事務局 1名	市総合福祉センター

(ウ) ボランティア活動に関する相談・情報提供

区民・関係機関等から受けた相談を集計し、多摩区ボランティアセンター運営委員会に報告しました。この報告を基に、本会のボランティアセンターにおける講座の企画に活かすとともに、ボランティアニーズの共有化を図りました。

<年間相談件数>

- ・ボランティアしたい方の相談：50件
- ・ボランティア受けたい方の相談：63件

・～たまぼらひろば～はじめよう！ボランティアライフ!!の開催

多摩区ボランティアセンター運営委員が、ボランティアを「これから始める方」や「はじめたばかりの方」に対して相談や情報提供を行うことで、ボランティアの初心者がボランティア活動に定着してもらうことを目的に開催しました。

今年度は7回開催し、福祉パルたま以外での開催や曜日を変える等、参加者が参加し易い工夫をしました。福祉パルたま以外の開催として、多摩区役所1階アトリウムで開催されているパサージュ・たまで相談ブースを設け、チラシの配布やボランティア情報の提供等を行いました。また、同会場でのランチタイムコンサートにおいてもチラシ配布を行いました。

また、多摩区福祉教育推進委員会と連携し、福祉教育セミナーで本事業を周知するなどの取り組みを始め、セミナー受講後にボランティア活動へとつなげられる仕組みを作りました。今年度は、1名の方が福祉教育セミナー受講後に～たまぼらひろば～へと参加されました。

期 日	内 容 等	会 場
5月14日	ボランティア活動の注意事項 個別相談等 出席：参加者5名 運営委員4名 事務局1名	パサージュ・たま
5月18日	ボランティア活動の注意事項 個別相談等 出席：参加者3名 運営委員3名 事務局1名	福祉パルたま
7月18日	ボランティア活動の注意事項 個別相談等 出席：参加者5名 運営委員2名 事務局1名	福祉パルたま
9月20日	ボランティア活動の注意事項 個別相談等 出席：参加者1名 運営委員4名 事務局1名	福祉パルたま
10月26日	ボランティア活動の注意事項 個別相談等 出席：参加者0名 運営委員4名 事務局1名	福祉パルたま
1月30日	ボランティア活動の注意事項 個別相談等 出席：参加者1名 運営委員3名 事務局1名	福祉パルたま
3月15日	ボランティア活動の注意事項 個別相談等 出席：参加者0名 運営委員2名 事務局1名	福祉パルたま

(エ) ボランティア情報誌「たまぼら」の発行

ボランティア活動に対する様々な情報の提供を通じて、ボランティア活動への理解や関心を高めることを目的に、年6回発行（各2,500部発行）し、区内の関係機関やボランティア活動希望者に送付しました。多摩区社会福祉協議会のホームページにもボランティア情報誌「たまぼら」を毎号掲載し、各種イベントや多摩区福祉教育推進委員会が実施する福祉教育セミナー等で配布を行いました。

また、今年度も号外として広報紙「多摩」との合併号を発行しました。

発 行 日	内 容	発行部数
5月10日号 (第58号)	①平成25年度ボランティアセンター事業計画 ②～はじめよう！ボランティアライフ!!～たまぼらひろば～について ③第13回多摩ふれあいまつりボランティア募集 ④ボランティア募集情報 他	2,500部

7月10日号 (第59号)	①ボランティア入門講座「タクティール®ケアを学ぼう!」のお知らせ ②～はじめよう!ボランティアライフ!!～たまぼらひろば～について ③第11回たまたま子育てまつりボランティア募集 ④ボランティア募集情報 他	2,500部
9月10日号 (第60号)	①ボランティア入門講座「高齢者擬似体験」のお知らせ ②お話し相手(傾聴)ボランティア入門講座のお知らせ ③～はじめよう!ボランティアライフ!!～たまぼらひろば～について ④ボランティア募集情報 他	2,500部
11月10日号 (第61号)	①ボランティア交流会のお知らせ ②「たまぼら」配布ボランティア募集 ③～はじめよう!ボランティアライフ!!～たまぼらひろば～について ④ボランティア募集情報 他	2,500部
1月10日号 (第62号)	①ボランティア入門講座「ベッドメイキング講座」のお知らせ ②福祉教育セミナーのお知らせ ③第6回多摩区社会福祉大会のお知らせ ④災害ボランティアセンターの設置と役割を学ぼう!のお知らせ ⑤ボランティア募集情報 他	2,500部
3月10日号 (第63号)	①第6期多摩区ボランティアセンター運営委員募集 ②第14回多摩ふれあいまつりボランティア募集 ③ボランティア交流会の開催報告 ④ボランティア募集情報 他	2,500部
号外 広報紙「多摩」	①お話し相手(傾聴)ボランティア入門講座のお知らせ ②～はじめよう!ボランティアライフ!!～たまぼらひろば～について ③ボランティア入門講座「タクティール®ケアを学ぼう!」のお知らせ ④「たまぼら」配布ボランティア募集 ⑤ボラ学について	6,800部

・ボランティア情報誌「たまぼら」配布ボランティア
「たまぼら」に配布ボランティア募集記事の掲載と、ボランティア講座受講生に対して配布ボランティア募集の案内を行いました。現在、配布ボランティアは14名が活動しています。

(オ) 講座開催事業

広く区民を対象とし、ボランティアを増やすことを目的に講座を開催しました。ボランティア活動の意義や理解を深めるとともに、必要な技術の習得が得られるような機会や場の提供を図りました。

講座は、ボランティア活動者のお話や施設体験の場を設定するなど、具体的なボランティア活動の「やりがい」や「楽しさ」などが伝わるような内容を企画し、ボランティア活動への一歩を踏み出せるよう努めました。

・ボランティア入門講座

これからボランティアを行ってみたいと考えている人に向けて開催しました。

ボランティア活動をはじめのきっかけとなるような講座を企画・検討し、講座受講後のボランティア活動がイメージし易くなるための具体的な内容の講座を開催しました

期 日	内 容 等	会 場
9月21日	講座：「タクティール®ケアを学ぼう！」 講師：原 智代 氏（日本スウェーデン福祉研究所） 出席：受講者 17名 運営委員 6名	福祉パルたま
11月16日	講座：「高齢者擬似体験」 講師：染矢 由起子 氏、吉田 恭子 氏、 田中 秀子 氏、高松 智恵子 氏 （NPO 法人川崎介護福祉士会） 出席：受講者 6名 運営委員 5名	福祉パルたま
3月1日	講座：「ベッドメイキング講座」 講師：五十嵐 さゆり 氏（YMCA福祉専門学校） 出席：受講者 13名 運営委員 6名	YMCA福祉専門学校

・お話し相手（傾聴）ボランティア入門講座

区内で活動するお話し相手（傾聴）ボランティアを増やすことを目的に、全4回の講座を開催しました。

講座の4回目には、お話し相手（傾聴）ボランティア入門講座受講生を中心にグループ化した「みみちゃんの会」の方たちに傾聴ボランティア活動の実体験をお話ししていただきました。

期 日	内 容 等	会 場
10月23日 10月30日 11月6日 11月13日	お話し相手(傾聴)ボランティア入門講座（全4回） 講師：第1回～第3回 生木 ヨシミ 氏・島田 律子 氏 （NPO 法人 P.L.A） 第4回 運営委員・みみちゃんの会 出席：第1回 受講者 21名 運営委員 3名 第2回 受講者 19名 運営委員 3名 第3回 受講者 20名 運営委員 3名 第4回 受講者 18名 運営委員 3名	福祉パルたま

・お話し相手（傾聴）ボランティア施設体験

お話し相手（傾聴）ボランティア入門講座受講生が、今後のボランティア活動に向けて実際の活動に触れ、一人でも多くの方が今後のボランティア活動につながるよう施設体験の場を設けました。

期 日	内 容 等	会 場
1月27日	にっこり会でのボランティア体験 出席：体験者 1名	にっこり会
2月5日	多摩川の里でのボランティア体験 出席：体験者 3名	多摩川の里

2月6日	エスペランサ登戸でのボランティア体験 出席：体験者2名	エスペランサ登戸
2月12日	ニチイケアセンター稲田堤でのボランティア体験 出席：体験者2名	ニチイケアセンター 稲田堤
2月19日	アミーユレジデンス生田でのボランティア体験 出席：体験者2名	アミーユレジデンス 生田
2月24日	にっこり会でのボランティア体験 出席：体験者2名	にっこり会
2月26日	コスモスの家でのボランティア体験 出席：体験者1名	コスモスの家
2月28日	ニチイケアセンター稲田堤でのボランティア体験 出席：体験者2名	ニチイケアセンター 稲田堤

・お話し相手（傾聴）ボランティアフォローアップ講座

お話し相手（傾聴）ボランティア入門講座の受講生や現在多摩区内で傾聴ボランティア活動を行っている方を対象に、より円滑に活動が行えるようフォローアップのための講座を開催しました。

期 日	内 容 等	会 場
3月19日	講座：「傾聴の基本をもう一度～利用者の気持ちに寄り添う～」 講師：荒木 美都子 氏・生木 ヨシミ 氏 (NPO 法人 P. L. A) 出席：受講者 24名 運営委員 2名	福祉パルたま

・「チャレボラ 2013」への協力(市・各区社会福祉協議会と関係機関との協働開催)

川崎市社会福祉協議会ボランティア活動振興センターや関係機関と協力し、小・中・高・大学生を対象に夏休みを利用したボランティア体験講座を開催しました。多摩区では、二ヶ領用水清掃体験・灯ろう作り体験を通じて、ボランティア活動や地域活動に興味を持ってもらうことを目的に2日間開催しました。

期 日	内 容 等	会 場
7月27日	ボランティア体験：二ヶ領用水清掃ボランティア体験 灯ろう作り体験 講師：宿河原堀を愛する会 宿河原町会 岡本 次郎 氏 出席：参加者 14名 (小学生10名、中学生3名、高校生1名) 運営委員 5名	二ヶ領用水 ・ 川崎市緑化 センター

8月10日	ボランティア体験：二ヶ領用水清掃ボランティア体験 灯ろう作り体験 講師：宿河原堀を愛する会 宿河原町会 岡本 次郎 氏 出席：参加者13名（小学生8名、中学生5名） 運営委員6名	二ヶ領用水 ・ 川崎市緑化センター
-------	--	-------------------------

・新規講座開催の検討

多摩区ボランティアセンターで開催する新規講座の運営を企画の段階から検討し、検討するにあたっては他機関が開催している講座を参考にしました。

期 日	内 容 等	会 場
5月15日	<検討事項> ①多摩区ボランティアセンターの講座開催目的について ②過去の講座内容について ③他機関との関わりについて 出席：運営委員5名 担当理事1名 事務局1名	福祉パルたま
6月12日	<検討事項> ①過去のボランティア相談について ②多摩区ボランティアセンターの啓発について ③他機関との情報交換について 出席：運営委員4名 事務局1名	福祉パルたま

・ボランティア交流会の開催

区内でボランティア活動を行っている個人やグループの方を対象に、レクリエーション技術の演習を通じて、ボランティア同士の交流を促し、区内で活動しているボランティアの横のつながりをつくることを目的に開催しました。

期 日	内 容 等	会 場
1月25日	講座：ボランティア交流会 講師：藤田 雅久 氏 (神奈川県レクリエーション協会) 出席：受講者20名（団体：5、個人：8） 運営委員5名 事務局1名	福祉パルたま

・災害ボランティア活動の推進

「災害ボランティアセンター設置時の対応と課題」冊子を参考に、多摩区防災フェアへの参加や講座などを通じて、多摩区災害ボランティアセンターの周知に努めました。

今年度は、町会・自治会・民生委員児童委員・地区社会福祉協議会など、災害が起きた時に地域の中心となって活動を行うと想定される方々に対して、災害ボランティアセンターの役割を理解していただく講座を企画しました。

期 日	内 容 等	会 場
12月6日	内容：多摩区防災フェアに参加し、災害ボランティアセンターを周知するためのパネル展示 出席：運営委員4名 事務局1名	多摩区役所 11階会議室
2月8日 ※降雪のため中止	内容：災害ボランティアセンターの設置と役割を学ぼう！ 対象：町会・自治会・民生委員児童委員・地区社会福祉協議会など、災害が起きた時に地域の中心となって活動を行うと想定される方々 参加予定者：申込者15名 運営委員4名 事務局1名	福祉パルたま

イ ボランティアグループへの協力支援

NO.	実施事業	H25
12	ボランティアグループ運営活動費助成	継続
13	多摩区当事者・ボランティア連絡会「たまわかくさ」への協力支援	継続

(ア) ボランティアグループ運営活動費助成

本会の第6種会員及び第7種会員を対象に、寄付金を財源とした活動助成を行うとともに、区内に活動拠点のある障害当事者団体等を対象に、共同募金配分金を財源とした行事助成を行いました。

種別	助成額	件数及び助成先
活動助成	45 頁掲載	
行事助成	210,600 円	9 団体 多摩区身体障害者児団体協議会、社会福祉法人ともかわさき なしの実、社会福祉法人ともかわさき あかね、社会福祉法人はぐるまの会、社会福祉法人なごみ福祉会 療育相談でんでん虫、ジョイフル宿河原、ジョイフル遊園班、リハビリ交流会、ジョイフル菅班

(イ) 多摩区当事者・ボランティア連絡会「たまわかくさ」への協力支援

区内を拠点に活動している福祉当事者や、ボランティアグループ等で組織している「たまわかくさ」（会員数：25 団体・個人3名）の事務局として、運営委員会や研修会等を支援し、当該団体の活動経費についても助成を行いました。

(2) 福祉教育の推進

NO.	実施事業	H25
14	福祉教育相談支援事業	継続
	車椅子や高齢者・妊婦疑似体験など福祉学習用備品の貸出し	継続
15	福祉教育推進委員会の開催	継続

	福祉教育セミナーの開催	継続
	福祉教育ハンドブックの改訂	継続
	保護者を対象とした講座の開催	実施
事業 NO. 25 「人材の発掘・育成・組織化」の具体的な事業展開		

区内小・中学校の総合的な学習の時間等での福祉学習、関係機関や企業での福祉に関する研修等の相談（17件）に対して、学習や研修のプログラム作成への助言、講師としてNPO法人川崎介護福祉士会や手話サークル、福祉施設の職員及び利用者の紹介と関連情報の提供、実施に必要な車椅子、高齢者疑似体験セット等の福祉用具の貸出しを行いました。

福祉教育推進委員会では、福祉教育セミナー、福祉教育ハンドブック、福祉教育サポートの3つのワーキンググループに分かれ、地域住民への福祉の啓発及び推進を目的とした各種事業に取り組みました。

ア 福祉教育に関する相談・情報提供・福祉用具の貸出し

《相談件数》

17件（小学校9件、中学校6件、関係機関1件、企業1件）

※1件の相談につき複数回、相談に対応

《福祉用具貸出し件数》

高齢者疑似体験セット：15件（80台）

点字器：3件（60台）

白杖セット：6件（35台）

妊婦体験ジャケット：9件（18台）

段差スロープセット：5件（5台）

携帯用段差スロープ：2件（2台）

※1件の申請で複数台の貸出しを行う場合があるため、「貸出件数」と「貸出台数」の数値は異なります。

※車椅子の貸出しについては、37頁に掲載

イ 福祉教育推進委員会

（ア）福祉教育推進委員会

福祉教育の推進のための各種事業に取り組む上で、事業の方向性や課題を検討する場及び、各ワーキンググループの情報交換の場として開催しました。

実施日	内容等	会場
6月11日	【報告事項】 平成24年度事業報告 【協議事項】 平成25年度事業計画 ・福祉教育セミナー ・福祉教育ハンドブック ・福祉教育サポート 出席：17名	福祉パルたま
2月12日	【協議事項】 ①福祉教育セミナー区域版の反省	多摩市民館 大会議室

	②ワーキンググループ活動の報告 ③平成 26 年度の事業計画 出席：15 名	
--	--	--

(イ) 福祉教育セミナーグループ

福祉についての理解と啓発を図ることを目的に、小地域での福祉教育セミナーを 2 回、区域での福祉教育セミナーを 1 回開催しました。

小地域版の第 1 回目では、区内の教育機関への新しい福祉学習プログラム情報の提供を兼ねて、日本ブラインドサッカー協会の協力のもと、小学生を対象としたブラインドサッカー体験を実施しました。

第 2 回目には、障害者の生活介護施設である社会福祉法人ともかわさき なしの実にご協力いただき、地域の障害者施設を地域住民に知ってもらい、施設と地域の繋がり作りの一助となることを目指したセミナーを開催しました。

また、区域版では、視覚障害について知ることをテーマに掲げ、NPO 法人障害者情報雇用福祉ネットワークの協力のもと、視覚障害当事者からの講話により視覚障害の本質について知るとともに、グループワーク等を通じて、他者への思いやりの心を育むことを目的としたセミナーを実施しました。

《グループ会議》

実施日	内 容 等	会 場
4 月 26 日	【協議事項】 今年度の福祉教育セミナーについて ①テーマ ②小地域版のセミナーについて ③区域版のセミナーについて 出席：7 名	福祉パルたま
5 月 17 日	【確認事項】 今年度の福祉教育セミナーについて 【協議事項】 ①小地域版のセミナー（第 1 回）について ②小地域版のセミナー（第 2 回）について ③区域版のセミナーについて 出席：7 名	福祉パルたま
6 月 18 日	【協議事項】 ①小地域版のセミナー（第 1 回）について ②小地域版のセミナー（第 2 回）について ③区域版のセミナーについて 出席：8 名	福祉パルたま
7 月 10 日	【協議事項】 ①小地域版のセミナー（第 1 回）について ②小地域版のセミナー（第 2 回）について ③区域版のセミナーについて 出席：7 名	福祉パルたま
9 月 12 日	【協議事項】 ①小地域版のセミナー（第 1 回）の反省について ②小地域版のセミナー（第 2 回）について	福祉パルたま

	③区域版のセミナーについて 出席：7名	
11月1日	①小地域版のセミナー（第2回）について ②区域版のセミナーについて 出席：7名	福祉パルたま
1月30日	区域版のセミナーについて 出席：9名	福祉パルたま

《福祉教育セミナー小地域版》

実施日	内容等	会場
8月7日	福祉教育セミナー小地域版① 《誰でもできる福祉のお手伝い》 【タイトル】 「君は見ないでサッカーができますか？」 ブラインドサッカー選手が教える 誰でも楽しめる ブラインドサッカー 【内容】 ①ブラインドサッカーについて ②視覚障がいの説明 ③ブラインドサッカーを体験してみよう！ 【参加】 小学生35名、保護者26名、同伴9名、教員1名 (他、委員7名) 【協力】日本ブラインドサッカー協会	多摩市民館 大会議室
11月11日	福祉教育セミナー小地域版② 《誰でもできる福祉のお手伝い》 【タイトル】 明治大学近くの障がい者施設 なしの実を訪ねて みよう！ 【内容】 ① 社会福祉法人ともかわさき なしの実の紹介 ② なしの実 施設見学 ③ グループ懇談 【参加】 15名（他、委員6名、施設職員3名） 【協力】 社会福祉法人ともかわさき なしの実	明治大学 地域産学連携 研究センター ・ なしの実

《福祉教育セミナー区域版》

実施日	内容等	会場
2月12日	福祉教育セミナー区域版 《誰でもできる福祉のお手伝い》 【タイトル】 見えない生活ってどんな感じかな… 視覚障害の	多摩市民館 大会議室

	本質について知ろう 【内容】 ①話題提供「視覚障害の本質について知ろう」 提供者：小泉暁美氏（View-Net 神奈川 副理事長） ②グループ懇談 ③講義「伝える・伝わるコトバとは何か」 講師：高木寛之氏（福祉教育推進委員会委員長） 出席：41名（他、委員14名）	
--	--	--

（ウ）福祉教育サポートグループ

本年度、これまでのワーキンググループの活動実態及び今後の活動の方向性に即し、グループの名称を福祉教育サポーターグループから福祉教育「サポート」グループへと変更しました。

具体的な活動では、昨年から引き続き、福祉教育推進委員会の活動PRに重点を置いた活動を進め、区PTA連絡協議会にご協力をいただき、区内の各小・中学校へ福祉教育推進委員会及びサポートグループの取組みに関する広報を行いました。

また、親子参加を通じて「子ども」と「保護者」とが共通した体験をすることで、家庭内での会話からの福祉についての学びの重ね合わせが図られるとともに、保護者に対して子どもたちが現在学んでいる福祉の学習について知ってもらう機会を作ることを目的として、親子参加型での講座を企画しましたが降雪のため中止となりました。

《グループ会議》

実施日	内容等	会場
5月24日	区PTA成人委員会に出席 福祉教育推進委員会及び福祉教育サポートグループの活動PRを実施	福祉パルたま
7月4日	【協議事項】 サポートグループの活動について 出席：4名	福祉パルたま
10月10日	【確認事項】 今年度の方向性について 【協議事項】 「子ども」と「保護者」が参加できる講座の実施について 出席：5名	福祉パルたま
11月7日	【協議事項】 「子ども」と「保護者」が参加できる講座の実施について 出席：3名	福祉パルたま

12月19日	【協議事項】 福祉教育サポート講座の実施について 出席：3名	福祉パルたま
--------	---	--------

《福祉教育サポート講座》

実施日	内容等	会場
2月15日 ※降雪のため中止	福祉教育サポート講座 【タイトル】 「君は見ないでサッカーができますか？」 ブラインドサッカー選手が教える 誰でも楽しめる ブラインドサッカー② 【内容】 ①ブラインドサッカーについて ②視覚障害の説明 ③ブラインドサッカーを体験してみよう！ 【参加予定者】 33名 【協力】 日本ブラインドサッカー協会	川崎市立 南菅中学校 体育館

(エ) 福祉教育ハンドブックグループ

区内の教育機関が実施する福祉学習の参考資料となることを目的として発行している「福祉教育ハンドブック（第3版）」が、来年度で発行から3年目を迎えることに伴い、発行当初の計画に基づき、ハンドブックの掲載内容の再確認及び見直しを行い、次期の改訂に向けた検討を進めました。

本年度に福祉学習についてのプログラム作成や講師紹介等の相談のあった教育機関を対象に、学習の実施状況についての調査を行い、その実施目的や内容、福祉教育ハンドブックについての要望等の確認を行いました。

《グループ会議》

実施日	内容等	会場
7月4日	【協議事項】 ①福祉教育ハンドブックについて ②改訂に向けた取り組み方法について ③内容改定（案）について ④次期改定までのスケジュールについて 出席：4名	福祉パルたま
10月10日	【協議事項】 ①福祉教育ハンドブックの活用対象について ②構成内容の見直しについて ③更新に向けた取り組み方法について 出席：5名	福祉パルたま
11月29日	【協議事項】 ①本年度の福祉学習相談状況について ②福祉教育ハンドブックの内容構成について ③改訂に向けてのアンケート調査について 出席：4名	福祉パルたま

1月27日	【協議事項】 ①本年度の福祉学習相談状況について ②改訂に向けてのアンケートについて ③福祉教育ハンドブックの内容構成について 出席：4名	福祉パルたま
2月24日	【協議事項】 ①改訂に向けてのアンケートについて ②福祉教育ハンドブックの内容構成について 出席：4名	福祉パルたま

(3) 広報啓発の推進

NO.	実施事業	H25
16	広報紙「多摩」の発行	継続
17	多摩区社会福祉協議会ホームページの運営	継続
	会員を中心とした掲載記事の募集	実施
	他区社協との協働	継続
18	各種まつりへの参加	継続
	「多摩ふれあいまつり」への助成と参加協力	継続
	「たまたま子育てまつり」への助成と参加協力	継続
	「多摩区民祭」への助成と参加協力	継続
	「多摩区社会を明るくする運動多摩区推進委員会」への助成と参加協力	継続
19	多摩区社会福祉大会の開催	継続
20	多摩区社会福祉協議会リーフレットの作成	継続
21	福祉関係資料の貸出し	継続

ア 広報紙「多摩」の発行

多摩区社会福祉協議会の事業活動の紹介や、関連する福祉情報の提供を行うとともに、広く福祉の啓発をするため、年4回広報紙「多摩」を発行しました。

本会の会員への配布と併せ、多摩区内の町会・自治会での回覧（年3回）や全戸配布（年1回）を行いました。

今後も引き続き多摩区社会福祉協議会のホームページに毎号掲載する等、より多くの区民への情報提供に努めます。

発行日	内 容	発行部数
7月1日 (第58号)	①平成24年度事業報告 ②平成25年度事業計画 ③賛助会員募集 ④地域住民懇談会開催案内 ⑤ボランティアグループ紹介 他	68,000部 (4ページ) 全戸配布
9月1日 (第59号)	①年末たすけあい運動「慰問金」申請について ②赤い羽根共同募金運動への協力をお願い ③福祉教育について	6,800部 (8ページ)

	④多摩ふれあいまつり報告 ⑤移送・送迎サービス紹介 ⑥ボランティアグループ紹介 ⑦ボランティアセンターからのお知らせ・募集 他	
12月1日 (第60号)	①年末たすけあい運動への協力をお願い ②ボランティアグループ紹介 ③賛助会員加入のお礼 ④たまたま子育てまつり、区民祭の報告 ⑤第6回多摩区社会福祉大会開催のお知らせ ⑥多摩ふれあいまつり実行委員募集 ⑦広報紙「多摩」音声版貸出開始 他	6,800部 (4ページ)
3月1日 (第61号)	①共同募金、年末たすけあい募金報告 ②ボランティアグループ紹介 ③第6回多摩区社会福祉大会報告 ④ふれあいサロン「いちにのさん」紹介 ⑤地域住民懇談会開催報告 ⑥多摩ふれあいまつりボランティア募集 他	6,800部 (4ページ)

イ ホームページの企画・運営

区内の身近な地域の福祉情報をはじめ、広報紙「多摩」をダウンロードできるようにする等、様々な福祉情報を提供しました。

特に、多摩区ボランティアセンターのページでは頻繁な更新を行い、講座の周知やボランティア情報誌「たまぼら」等の最新情報を提供するとともに、本会の6・7種会員の紹介記事の更新を行いました。

ウ 各種行事への参加協力

(ア) 「第13回多摩ふれあいまつり」への助成と参加協力

「第13回多摩ふれあいまつり（たまわかくさー多摩区当事者・ボランティア連絡会ー・同実行委員会主催）」の開催経費を助成するとともに、後援事業として多摩市民館と実行委員会事務局を担いながら、「第13回多摩ふれあいまつり」に参加・協力しました。

(イ) 「第11回たまたま子育てまつり」への助成と参加協力

「第11回たまたま子育てまつり」（同実行委員会主催）の開催経費を助成するとともに、多摩市民館と実行委員会事務局を担いながら、当日のまつりを支えるボランティアの調整等を行いました。

(ウ) 「第63回社会を明るくする運動多摩区推進委員会」への助成と参加協力

「第63回社会を明るくする運動」の効果的な展開を図るため、多摩区推進委員会に開催経費の助成を行いました。

(エ) 「第 36 回多摩区民祭」への助成と参加協力

「第 36 回多摩区民祭」への助成を行うとともに、募金活動やパネル展示、広報誌の配布等による P R 活動を行いました。

期 日	内 容	会 場
6 月 16 日	第 13 回多摩ふれあいまつり 多摩区社会福祉協議会及び各地区社会福祉協議会の活動パネルの展示と広報誌等の配布を行いました。 参加者：4,000 名	多摩区役所 総合庁舎
9 月 15 日	第 11 回たまたま子育てまつり 多摩区社会福祉協議会及び各地区民生委員児童委員協議会が実施している子育てサロン等支援事業の活動パネルの展示やチラシの設置による広報活動を行いました。 参加者：3,600 名（台風による雨天の中決行）	多摩区役所 総合庁舎
10 月 19 日	第 36 回多摩区民祭 P R 活動として、多摩区社会福祉協議会及び各地区社会福祉協議会の活動パネルの展示、広報紙等の配布を行うとともに、多くの方に出店ブースに来ていただき、社会福祉協議会の活動を知っていただけるよう、バルーンアートの配布と併せてリーフレットの配布を行いました。	生田緑地

エ 第 6 回多摩区社会福祉大会の開催

社会福祉に関する啓発活動を広く行うとともに、多年にわたり地域福祉に貢献された個人及び団体に感謝を表することを目的として、地区社会福祉協議会、町会・自治会、民生委員児童委員、老人クラブ、ボランティア・当事者団体、その他関係機関の協力のもと、第 6 回多摩区社会福祉大会を開催しました。

第 1 部の記念式典では、計 16 名の福祉活動貢献者及び福祉活動の支援者への感謝状の贈呈を行い、第 2 部の記念式典では、TBS テレビ報道局解説・専門記者室長の杉尾秀哉氏による講演会を実施し、多くの地域住民の方の参加をいただくことができました。

(ア) 多摩区社会福祉大会

期 日	内 容 等	会 場
2 月 18 日	第一部 記念式典 第二部 記念講演会 「地域のつながり、今大切なこと ～震災報道の現場から～」 杉尾秀哉氏	多摩市民館 大ホール

	(TBSテレビ報道局解説・専門記者室長) 参加者：450名	
--	----------------------------------	--

(イ) 多摩区社会福祉大会実行委員会

期 日	内 容	会 場
9月11日	①実行委員会委員長及び副委員長の選任について ②大会の構成について ③集客方法について ④来賓について ⑤スケジュールについて ⑥その他(大会経費等) 出席：7名	福祉パルたま
10月15日	①記念講演会講師について ②開催要綱について ③感謝状贈呈について ④活動PRスライドショーについて ⑤各地区社協への協力依頼について 出席：8名	福祉パルたま
12月26日	①感謝状の贈呈について ・感謝状授与代表者 ②活動PRスライドショーについて ③会場等レイアウトについて ④当日の進行及び担当について ⑤現在の進捗状況について ⑥第7回多摩区社会福祉大会開催候補日について 出席：10名	福祉パルたま
3月26日 (評議員会 内にて)	①第6回大会の参加人数等の報告 ②次年度の大会の開催日について 出席(実行委員)：9名	福祉パルたま

(ウ) 実行委員及び協力員合同打ち合わせ会

期 日	内 容	会 場
2月14日	①全体の流れについて ②その他 出席：実行委員 9名 係員 16名	多摩市民館

オ 多摩区社会福祉協議会リーフレットの見直し

これまで活用していた多摩区社会福祉協議会リーフレットの内容の見直しを行いました。今回の見直しにより、リーフレットを読んでもくださった方々に対し、本会が進

める地域福祉活動について少しでも多く知っていただけるよう、具体的な取り組み内容等を掲載する形となりました。新たな多摩区社会福祉協議会リーフレットは、平成26年度に発行を予定しております。

カ 福祉関係情報の提供

館内のスペースに限りがあるため、福祉関係資料や蔵書の整理を行い、区内のボランティアグループの会報、市内地区社会福祉協議会の記念誌、福祉新聞やタウン誌等、地域性の高い資料を設置しました。

(4) 子育て支援の推進

NO.	実施事業	H25
22	保育ボランティアの人材発掘・育成	継続
23	ふれあい子育てサロン「いちにのさん！」の実施	継続
	異世代の参加促進	継続
24	母親クラブ、子育てサロン等の育成支援	継続
	母親クラブの支援内容についてニーズ把握	継続
	異世代支援者への働き掛け	継続

ア 保育ボランティアの人材発掘・育成

ふれあい子育てサロン「いちにのさん！」の今後に向けた打ち合わせ会を、保育の支援活動を現在行っている保育ボランティアと実施しました。

期 日	内 容 等	会 場
11月27日	「いちにのさん！」 打ち合わせ会 参加者：6名 事務局1名	稲田小学校 特別活動室

イ ふれあい子育てサロン「いちにのさん！」

0歳から2歳くらいの子どもとその保護者が自由に過ごせる場所として、稲田小学校の協力を得て実施しました。運営は保育ボランティア「ぽけっと」の協力のもと、月に1回第4水曜日に実施しました。(4月と12月は第3週水曜日に実施)

期 日	参 加 者	会 場
4月24日	参加者 16組 ボランティア 4名	稲田小学校
5月22日	参加者 14組 ボランティア 3名	稲田小学校
6月26日	参加者 10組 ボランティア 6名	稲田小学校
7月24日	参加者 12組 ボランティア 4名	稲田小学校
8月28日	参加者 18組 ボランティア 6名	稲田小学校
9月25日	参加者 6組 ボランティア 4名	稲田小学校
10月23日	参加者 12組 ボランティア 6名	稲田小学校
11月27日	参加者 13組 ボランティア 4名	稲田小学校

12月18日	参加者 7組	ボランティア 5名	稲田小学校
1月22日	参加者 6組	ボランティア 4名	稲田小学校
2月26日	参加者 10組	ボランティア 6名	稲田小学校
3月26日	参加者 8組	ボランティア 5名	稲田小学校

参加親子合計：49組（うち新規28組）、年間延べ132組

ボランティア活動者数：6名、年間延べ57名

1回平均：親子11組、ボランティア4名（小数点以下は切り捨て）

ウ 母親クラブ

多摩区内11の母親クラブの活動を支援するため、地区社会福祉協議会を通じて、共同募金配分金による助成（1クラブ5,000円）を行いました。

また、母親クラブに対して子育て情報の提供や入会希望者の調整等を行いました。

3 《区民の生活をささえるネットワークの形成》 つなげる・つながる

(1) 住民参加による福祉活動の推進

ア 人材の発掘・育成・組織化

NO.	実施事業	H25
25	人材の発掘・育成・組織化	継続

イ 小地域福祉活動の推進

NO.	実施事業	H25
26	小地域福祉活動の推進	継続
	※上記実施事業は、事業NO.25「人材の発掘・育成・組織化」の具体的な事業展開	
28	高齢者ふれあい活動の推進支援	継続
	地域ニーズの共有化	継続
29	地域福祉活動拠点の確保	検討
—	地区社協育成費・福祉活動費の交付、助成	継続

区民に身近な地域での住民主体による福祉・ボランティア活動を推進するため、地区社会福祉協議会をはじめ、各種福祉団体や当事者団体の活動に対して、情報提供や連絡調整等の協力・支援を行いました。

地区社会福祉協議会や福祉団体等への各種助成事業を通じて、地域福祉活動や在宅福祉活動の育成・支援を行いました。

(ア) 地区社会福祉協議会育成費助成

(イ) 地区社会福祉協議会福祉活動費助成

(ウ) 地域福祉活動費助成（賛助会費原資による）

(エ) ふれあい活動支援事業費助成（会食・配食・ミニデイサービス活動）

ウ 地区社会福祉協議会の組織強化支援

NO.	実施事業	H25
27	地区社協活動マニュアルの作成	—
	地区社協による組織的な人材発掘・育成への取組支援	継続
	地区社協関係者を中心とした研修、懇談会等の開催	継続
※上記実施事業は、事業 NO. 25「人材の発掘・育成・組織化」の具体的な事業展開		

各地区担当職員が、地区社会福祉協議会の各種会議への参加や人材育成のための研修会等のコーディネートを行い、主体的に地域活動へ取り組めるよう支援するとともに、日常的なかかわりや各種会議・事業活動を通じて、区内の5つの地区社会福祉協議会相互の連絡調整や連携を図りました。

なお、「地区社協活動マニュアルの作成」については、第2期地域福祉活動計画の中間見直し時に、各地区共通のマニュアル作成は困難であることが確認され、作成を取りやめることが決定しましたので実施しておりません。

エ 福祉パルたま等の管理運営

NO.	実施事業	H25
30	福祉パルたまの管理運営	継続
	福祉パルたまの広報活動	継続
	福祉パルたま研修室・ボランティアコーナーの広報活動	継続
	多摩区内の地域福祉活動の情報提供	継続
—	研修室・ボランティアコーナー・機材の貸出し	継続
31	多摩区内7箇所の老人いこいの家の管理運営	継続
	利用ルールの整備	継続
	管理人研修会の開催	継続
	日用備品等の修理	継続
—	老人いこいの家ミニデイケアサービス事業の実施（登戸・長尾・菅・中野島）	継続

(ア) 福祉パルたま受託経営事業

・研修室及びボランティアコーナーの貸出し

川崎市から「福祉パルたま」の管理運営業務を受託し、地域福祉活動・ボランティア活動の拠点施設として、研修室及びボランティアコーナーの貸出しを行いました。今年度の研修室及び、ボランティアコーナーの利用状況の詳細は39・40・41頁のとおりです。

	年間利用件数	年間延べ利用者数
研修室	376件	7,813人
ボランティアコーナー	133件	698人

・ボランティア活動等に必要機材・機器の貸出し

研修室及びボランティアコーナーの利用と併せて、印刷機等の機材・機器の貸出しを行いました。

(イ) 老人いこいの家ミニデイケアサービス受託経営事業

川崎市からの受託により、区内4箇所（登戸・長尾・菅・中野島）の老人いこいの家において、ボランティアグループによるミニデイケアサービス事業を各館年間12回実施しました。

(ウ) 老人いこいの家指定管理事業

川崎市から指定管理者として第1期に引き続き、平成21年度から5年間の指定を受け、「老人いこいの家運営委員会」及び老人いこいの家調整担当とともに、区内7箇所の「老人いこいの家」の管理・運営を行い、運営委員会等を通じてルールの周知を行いました。

また、管理人と連携し、適時、日用備品の修繕を行い、老人いこいの家を会場とした川崎市主催事業「いこい元気ひろば」の実施にも協力しました。

夜間休日の施設開放については、委託先であるシルバー人材センターと情報を共有し、いこいの家の適正な利用状況の把握に努めました。

なお、理事会・評議員会や地区社協会長ならびに老人いこいの家運営委員長合同会議等を通じて協議を重ねた結果、川崎市に対し次期老人いこいの家指定管理者の申請を行い、平成26年度から5年間の指定を受けることが決定し、次年度以降も引き続き5年間区内7箇所の老人いこいの家の管理運営を行うことになりました。

<利用状況>

団体利用者数	48,800名
個人利用者数	28,024名

・老人いこいの家管理人研修会

区内7箇所の老人いこいの家の管理人を対象として、次期指定管理における業務の円滑な遂行を目的とした研修会を実施しました。

実施日	内 容	会 場
3月24日	①平成26年度からの勤務体制及び業務について ②パソコン操作について 出席11名	福祉パルたま

・老人いこいの家代替臨時職員（アルバイト）研修

高津区、多摩及び麻生区社会福祉協議会と合同で老人いこいの家代替臨時職員（アルバイト）を対象にスキルの向上を目的とした研修会を実施しました

実施日	内 容	会 場
2月8日	普通救命講習会 出席28名（多摩区は9名）	麻生消防署

・世代間交流事業

世代間事業への取組みとして、近隣の保育園や小・中学校からの見学や訪問の受け入れ、交流を行いました。また、「こども文化センター」が併設されている老人いこ

いの家については、子供たちと老人いこいの家の利用者が施設の行事・お祭りや囲碁等の活動を通じて交流を図りました。

・地区社会福祉協議会会長・老人いこいの家運営委員長合同会議

期 日	内 容	会 場
7月24日	①次期老人いこいの家指定管理について 出席：11名	多摩区役所 1101 会議室
1月30日	①老人いこいの家指定管理の申請と結果について ②平成26年度老人いこいの家の運営について 出席：11名	福祉パルたま

(2) 総合相談支援機能の強化

ア 総合相談支援事業

NO.	実施事業	H25
32	情報の整備	継続
	相談統計・傾向の分析	継続
	相談カードの様式・情報の共有化	継続
	個人情報の取扱・保管について検討	継続
—	福祉を中心とした総合相談支援事業の実施	継続

区民や機関から寄せられる各種相談に対して、適宜、関係機関の紹介や情報提供等の対応を行いました。

また、各事業担当者が保有している相談対応内容を記録する相談カードについて、個人情報の保護も含めた保管方法等の検討を行い、重要な個人情報等が記載されている相談カードについては鍵付書庫へ保管することとしました。

イ 生活福祉資金の貸付

NO.	実施事業	H25
33	生活福祉資金の借り入れ相談及び貸付	継続
	民生委員・児童委員への制度説明	継続
—	生活福祉資金貸付調査委員会による審査	継続

神奈川県社会福祉協議会から受託し、生活福祉資金貸付制度の相談及び貸付業務を行いました。

今年度は、生活福祉資金の貸付けに関する相談が167件ありましたが、貸付決定へと繋がった件数は18件でした。貸付けに繋がらなかった相談に関しては、他機関の紹介や情報提供等の対応を行いました。

なお、貸付や償還の延べ相談件数は1,647件でした。延べ相談件数の内訳は46頁のとおりです。

(ア) 貸付決定状況

資金種別	件数	申請金額	貸付決定額
総合支援資金 (生活支援費)	2件	525,000円	525,000円
総合支援資金 (住宅入居費)	1件	233,145円	233,145円
総合支援資金 (一時生活再建費)	0件	0円	0円
臨時特例つなぎ資金	0件	0円	0円
緊急小口資金	8件	648,000円	648,000円
福祉費	2件	970,000円	970,000円
教育支援資金	5件 (内1件 辞退)	2,398,000円 (辞退額505,000円)	2,398,000円 (辞退額505,000円)
生活復興支援資金	0件	0円	0円
合計	18件	4,774,145円	4,774,145円

(イ) 生活福祉資金貸付調査委員会

期日	内容	会場
3月10日	平成25年度生活福祉資金貸付状況等実績報告について 出席：11名	福祉パルたま

ウ あんしんセンター事業

NO.	実施事業	H25
34	適正な職員配置についての要請	継続
	地域への普及啓発等身近な相談窓口としての運営	継続
	専門員の教育や研修内容の検討	継続
—	日常生活自立支援事業及び成年後見制度での高齢者及び障害者の権利擁護にかかわる相談	継続
—	日常生活自立支援事業に関連する関係機関との調整	継続
—	日常生活自立支援事業の利用契約締結に関する調査、調整、審査会等への諮問	継続
—	日常生活自立支援事業の実施	継続

川崎市社会福祉協議会から「日常生活自立支援事業」を受託し、高齢者・障害者で、自身で福祉サービスの利用契約や日常的な金銭管理を行うことに不安のある方が、地域で自立した生活が送れるよう、①福祉サービスの利用援助、②日常的な金

銭管理、③書類等の預かり、等のサービスを行いました。

専門員及び生活支援員については、神奈川県社会福祉協議会や川崎市社会福祉協議会で開催される研修へ積極的に参加し、職員の資質向上に努めました。

なお、今年度のおんしんセンター事業実績は 47・48 頁のとおりです。

エ ニーズ把握・検討システムの構築

NO.	実施事業	H25
35	福祉ニーズの把握・共有化・活用方法の検討	継続
—	川崎市社協「地域福祉情報バンク」事業への協力	継続

各地区社会福祉協議会の実施する会食会・ミニデイサービス活動等への協力、地域包括支援センター及び保健福祉センターとの連携を図る中で、必要な相談・支援活動に努めるとともに、本会が把握している情報の提供、共有方法について検討しました。また、川崎市社会福祉協議会の「地域福祉情報バンク」事業への情報提供を適宜行い、情報及び課題の共有を行いました。

(3) 在宅福祉サービスの推進

ア 川崎市要介護者生活支援ヘルパー派遣事業

NO.	実施事業	H25
36	川崎市要介護者生活支援ヘルパー派遣事業	継続

川崎市社会福祉協議会からの受託により実施している本年度の要介護者生活支援ヘルパー派遣事業の実績は、次のとおりです。

年間延べ利用者数 23 名 (月平均 1.9 名)

年間延べ利用時間 184 時間 (月平均 15.3 時間)

イ 年末たすけあい運動配分事業

NO.	実施事業	H25
40	年末たすけあい運動配分委員会の開催	継続
	福祉ニーズを持つ世帯への民生委員・児童委員活動の周知協力	継続
—	年末たすけあい運動の実施 (年末たすけあい募金の配分)	継続
—	共同募金運動への協力	継続

共同募金運動の一環として行われている「年末たすけあい運動」については、「年末たすけあい運動配分委員会」において配分等の検討を行いました。福祉ニーズを持つ世帯からの申請に基づいて、民生委員児童委員の協力により 1 世帯 4,000 円の配分を行いました。また、民生委員児童委員のPR用のパンフレットも併せて配布しました。

(ア) 年末たすけあい運動配分委員会

期 日	内 容	会 場
7月11日	①正副委員長選出 ②平成24年度年末たすけあい運動募金結果について ③平成24年度年末たすけあい運動配分結果について ④平成25年度年末たすけあい運動配分計画について ⑤平成25年度年末たすけあい運動「慰問金」申請について ⑥平成25年度年末たすけあい運動「慰問金」の周知について 出席：16名	福祉パルたま
12月11日	平成25年度多摩区年末たすけあい募金の配分について 出席：17名	福祉パルたま

(イ) 年末慰問金配分実績（一世帯当たり4,000円）

種 別	配分件数	配分金額
身体障害者1級世帯	372世帯	1,488,000円
身体障害者2級世帯	164世帯	656,000円
知的障害者世帯（療育手帳A）	91世帯	364,000円
精神障害者世帯（1級）	17世帯	68,000円
要介護高齢者世帯（要介護4）	28世帯	112,000円
要介護高齢者世帯（要介護5）	22世帯	88,000円
合 計	694世帯	2,776,000円

ウ 移送・送迎等の移動支援

NO.	実施事業	H25
41	移送・送迎サービス事業の実施及びその要綱の整備	実施
	方向性の検討	実施
—	移送・送迎サービス事業運営委員会の開催	継続
—	運転ボランティア養成講座の開催	継続
—	運転ボランティアグループ「多摩21」の活動支援	継続
42	車いす貸出事業の実施及び障害・損害保険への加入	継続
	車いすのメンテナンス及び廃棄方法の検討	継続
—	川崎市高齢者フリーパス販売業務の実施	継続

(ア) 移送・送迎サービス事業

多摩区内で在宅生活をされ、かつ、家庭における送迎や公共交通機関を利用することが困難な移動制約者を対象に、①運転ボランティアによる福祉車両を使用した「移送サービス」、②ボランティアの自家用車を使用した「送迎サービス」、③福祉車両の貸出し等の移動支援を行いました。

「移送・送迎サービス事業運営委員会」では、事業の収支状況や活動状況、ボラ

ンティア育成状況等について検討し、現在の事業が抱えている課題と今後の方向性についての協議をすすめ、第3期地域福祉活動計画の重点取組として次年度以降取り組むことが決まりました。

運転ボランティアの養成にあたっては、移動支援に関するニーズの増加に対応できるよう、幸区社会福祉協議会、宮前区社会福祉協議会及び麻生区社会福祉協議会との共催で「国土交通省認定 福祉有償運送認定講習」を開催しました。

平成 25 年度 活動件数

月	移送サービス	送迎サービス	車両貸出
4月	17	54	5
5月	14	57	4
6月	14	50	4
7月	13	48	4
8月	13	43	3
9月	15	51	4
10月	17	54	4
11月	17	52	4
12月	17	39	3
1月	12	53	4
2月	17	51	4
3月	14	46	4
年度計	180	598	47

移送・送迎サービス事業運営委員会

期 日	内 容	会 場
11月28日	①報告 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度事業報告 ・平成24年度事業経費 ・平成25年度事業計画 ・賛助会員登録状況 ・活動状況一覧 ②今後の事業のあり方について ③情報交換 ④その他 出席：7名	福祉パルたま
2月28日	①報告 <ul style="list-style-type: none"> ・第3期地域福祉活動計画 ・活動状況 ・事業経費 ②協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・要綱改正案 ・料金改定案 ・ボランティア活動費について ③情報交換 ④その他 出席：6名	福祉パルたま

・福祉有償運送認定者講習（幸区社協・宮前区社協・麻生区社協との共催）

期 日	内 容 等	会 場
12月7日 12月8日	福祉有償運送運転者養成講習及びセダン型等運転者養成講習 参加者：21名	福祉パルみやま

・運転ボランティアグループ「多摩21」への協力支援

運転ボランティアグループ「多摩21」と連携して、移送・送迎サービス事業の安全で安定したサービス運営を図るとともに、新規ボランティアの募集及び養成を行いました。

(イ) 車椅子の貸出し

障害や高齢、病気やけが等で外出が困難な多摩区民の生活上の便宜や社会参加を促進するため、また、多摩区内の学校で行う福祉教育での体験学習に、車椅子の貸出しを行いました。

車椅子を管理していく上では、傷害保険・賠償責任保険に加入するとともに、随時メンテナンスを行い、破損や劣化が見られる物については廃棄及び入替えを行いました。

<貸出件数・台数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	13	17	18	15	10	9	20	18	12	5	12	13	162
台数	13	17	26	26	23	28	42	25	17	12	21	26	276

利用者 状況	障害者（児）	20
	高齢者	75
	病気	19
	けが	24
	福祉教育等その他	138

利用 目的	通院	51
	通学	5
	旅行	26
	買い物	11
	行事への参加	35
	福祉教育等その他	148

※1件の申請で複数台の貸出しを行う場合があるため、「貸出件数」と「利用者の状況」及び「利用目的」の数値は異なります。

(ウ) 川崎市高齢者フリーパス交付事務

川崎市社会福祉協議会から川崎市高齢者外出支援乗車事業を受託し、川崎市高齢者フリーパスの販売業務を行いました。

<交付件数>

()内は福祉パス

月	4	5	6	7	8	9	計
件数	301 (91)	259 (56)	378 (82)	327 (71)	265 (47)	313 (59)	
月	10	11	12	1	2	3	
件数	307 (49)	251 (32)	278 (41)	260 (39)	230 (39)	388 (122)	

4 <<区内の福祉関係団体・施設との協働促進>> かかわる・ささえる

(1) 地域の団体・施設との協働

NO.	実施事業	H25
43	協働事業や相乗的な事業展開の検討	継続
44	関係施設・団体との情報交換	継続
<p>理事・評議員出席会議</p> <p>多摩保健所運営協議会、川崎市地区血液対策協議会、多摩区区民会議、多摩区地域福祉計画推進会議、多摩市民館運営審議会、川崎市社協ボランティア活動振興センター運営委員会、多摩区民生委員推薦区会、多摩区まちづくり協議会、多摩区地域教育会議、社会福祉法人川崎市社会福祉事業団評議員会、多摩川の里身体障害者福祉会館運営委員会、財団法人川崎市老人クラブ連合会評議員会、多摩区スポーツセンター運営連絡会議 他</p>		
<p>職員出席会議</p> <p>多摩区地域ケア会議、多摩区要保護児童対策地域協議会実務者会議、多摩区自立支援協議会、パサージュたま運営委員会、多摩区子育て支援会議、多摩区こども支援連携会議、地域通貨たま運営委員会、リハビリ交流会、紙ひこうき地域ネットワーク会議、ふらっと地域ネットワーク会議、川崎きた作業所・はっぴわーく地域ネットワーク会議、多摩区生涯学習推進会議、多摩区地域福祉計画推進会議、多摩区地域包括支援センター運営協議会 他</p>		

本会会員や各種関係機関・団体との会議や委員会において情報の共有に努めるとともに、「第2期地域福祉活動計画」の周知を行い、地域福祉活動の推進に対する理解が得られるよう努めました。

第2期地域福祉活動計画外の実施事業

NO.	実施事業	H25
—	多摩区民生委員児童委員協議会	継続
—	たまわかくさ（多摩区当事者・ボランティア連絡会）	継続
—	神奈川県共同募金会川崎市多摩区支会	継続

1 多摩区民生委員児童委員協議会への協力支援

地区民生委員児童委員協議会の区内の連携を目的とした多摩区民生委員児童委員協議会の事務局を担い、区内の地域福祉活動の推進に深くかかわっている民生委員児童委員活動への支援を行いました。

2 たまわかくさ（多摩区当事者・ボランティア連絡会）への協力支援

区内を拠点に活動している福祉当事者や、ボランティアグループ等で組織している「たまわかくさ」（会員数：25団体・個人3名）の事務局として、運営委員会や研修会等を支援するとともに、当該団体の活動経費について助成を行いました。（18頁再掲）

3 共同募金運動への協力支援

神奈川県共同募金会川崎市多摩区支会及び各地区分会と協力し、区内の共同募金運動を推進しました。

共同募金（一般募金）実績額 14,202,781円

年末たすけあい募金実績額 8,301,399円

平成25年度

福祉パル たま 研修室利用状況

(1) 月別利用件数及び利用者数(時間別・曜日別)

月	開室可能件数							利用 件数 合計	利用 者数 合計	利用率	時間帯別件数・利用者数						曜日別件数・利用者数									
	午前	午後	夜間	平日	土曜	日曜	合計				午前		午後		夜間		計		平日		土曜		日曜		計	
											件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	27	27	9	51	8	4	63	29	699	46.0%	12	329	13	295	4	75	29	699	27	644	1	25	1	30	29	699
5月	25	25	9	51	6	2	59	34	691	57.6%	15	330	14	284	5	77	34	691	31	593	2	90	1	8	34	691
6月	27	27	8	48	10	4	62	31	657	50.0%	12	306	15	267	4	84	31	657	29	635	1	4	1	18	31	657
7月	28	28	9	53	8	4	65	34	764	52.3%	14	372	16	323	4	69	34	764	31	689	0	0	3	75	34	764
8月	29	29	9	53	10	4	67	23	425	34.3%	9	194	11	166	3	65	23	425	20	386	3	39	0	0	23	425
9月	25	25	8	46	8	4	58	41	740	70.7%	17	358	20	324	4	58	41	740	37	684	2	24	2	32	41	740
10月	28	28	10	54	8	4	66	41	993	62.1%	16	433	18	392	7	168	41	993	38	951	2	22	1	20	41	993
11月	25	25	8	48	8	2	58	31	586	53.4%	14	249	14	297	3	40	31	586	30	583	1	3	0	0	31	586
12月	25	25	8	46	8	4	58	25	551	43.1%	11	237	11	225	3	89	25	551	23	451	2	100	0	0	25	551
1月	25	25	8	46	8	4	58	27	537	46.6%	11	224	12	250	4	63	27	537	25	487	1	30	1	20	27	537
2月	25	25	7	45	8	4	57	28	538	49.1%	12	275	12	214	4	49	28	538	26	506	2	32	0	0	28	538
3月	27	27	8	48	10	4	62	32	632	51.6%	9	195	18	373	5	64	32	632	27	543	2	40	3	49	32	632
合計	316	316	101	589	100	44	733	376	7,813	—	152	3,502	174	3,410	50	901	376	7,813	344	7,152	19	409	13	252	376	7,813
利用率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51.3%	48.1%	—	55.1%	—	49.5%	—	—	—	58.4%	—	19.0%	—	29.5%	—	—	—

※開室可能件数…午前・午後・夜間をそれぞれ1件とカウントし、時間帯別・曜日別に示した開室可能件数です。

※時間帯別件数・利用者数、曜日別件数・利用者数…同一時間帯に複数団体が利用した場合(研修室を仕切る、時間をずらす等)は、団体ごとにそれぞれ1件とカウントしてください。

また、1つの団体が時間帯をまたいで利用した場合は、時間帯ごとにそれぞれ1件とカウントしてください。

時間帯別件数・利用者数、曜日別件数・利用者数それぞれの合計は全て同じになります。

※利用率…開室可能件数に対して実際の利用件数の割合です。同一時間帯の複数団体の使用により100%を超えることもあります。

平成25年度 福祉パル たま 研修室利用状況

(2) 月別利用件数及び利用者数(利用団体別・利用内容別)

月	利用 件数 合計	利用 者数 合計	利用団体別件数・利用者数														利用内容別件数・利用者数											
			ボランティア		民生委員		福祉・当事者団体		福祉施設		社 協		行 政		その他		合 計		ボランティア活動		会 議		講座・研修		その他		合 計	
			件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	29	699	17	469	3	90	0	0	0	0	5	83	1	5	3	52	29	699	3	59	10	203	13	385	3	52	29	699
5月	34	691	15	331	1	35	1	9	2	90	11	184	0	0	4	42	34	691	3	56	15	317	12	288	4	30	34	691
6月	31	657	16	429	3	78	0	0	0	0	6	86	1	5	5	59	31	657	3	59	13	208	12	352	3	38	31	657
7月	34	764	17	392	2	72	3	80	1	21	4	90	0	0	7	109	34	764	6	104	12	256	14	378	2	26	34	764
8月	23	425	12	278	1	5	1	5	0	0	3	34	0	0	6	103	23	425	3	61	9	115	9	201	2	48	23	425
9月	41	740	19	460	3	65	3	23	0	0	10	117	0	0	6	75	41	740	6	95	16	193	15	408	4	44	41	740
10月	41	993	25	631	1	35	0	0	1	14	10	272	0	0	4	41	41	993	10	148	8	191	18	563	5	91	41	993
11月	31	586	13	346	2	49	1	6	0	0	13	167	1	7	1	11	31	586	1	34	12	145	16	393	2	14	31	586
12月	25	551	8	228	2	46	0	0	1	8	12	252	0	0	2	17	25	551	1	37	11	145	6	180	7	189	25	551
1月	27	537	16	386	0	0	1	7	0	0	6	102	0	0	4	42	27	537	2	18	8	109	13	358	4	52	27	537
2月	28	538	11	256	1	30	3	52	4	36	5	110	0	0	4	54	28	538	1	44	6	117	13	287	8	90	28	538
3月	32	632	12	255	1	50	3	34	0	0	10	192	0	0	6	101	32	632	0	0	15	292	15	322	2	18	32	632
合計	376	7,813	181	4,461	20	555	16	216	9	169	95	1,689	3	17	52	706	376	7,813	39	715	135	2,291	156	4,115	46	692	376	7,813

※同一時間帯に複数団体が利用した場合は、団体ごとに1件とカウントしてください。

また、1つの団体が時間帯をまたいで利用した場合は、時間帯ごとにそれぞれ1件とカウントしてください。

合計は、研修室(1)と同じになります。

平成25年度 福祉パル たま ボランティアコーナー利用状況

月	開室可能件数 夜間再掲		利用件数			利用者数			時間帯別件数・利用者数								
			個人	団体	合計	個人	団体	合計	午 前		午 後		夜 間		計		
									件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
4月	63	9		15	15			100	100	12	76	3	24			15	100
5月	59	9		11	11			49	49	4	20	7	29			11	49
6月	62	8		10	10			48	48	4	23	6	25			10	48
7月	65	9		14	14			93	93	6	37	7	51	1	5	14	93
8月	67	9		9	9			35	35	3	9	6	26			9	35
9月	58	8		8	8			42	42	6	30	2	12			8	42
10月	66	10		9	9			59	59	4	31	5	28			9	59
11月	58	8		9	9			47	47	4	15	5	32			9	47
12月	58	8		8	8			28	28	4	14	4	14			8	28
1月	58	8		9	9			42	42	5	20	4	22			9	42
2月	57	7		13	13			72	72	5	27	8	45			13	72
3月	62	8		18	18			83	83	5	23	12	58	1	2	18	83
合計	733	101	0	133	133	0		698	698	62	325	69	366	2	7	133	698

※開室可能件数…開室可能件数の月計です。第1、第3日曜日もすべてカウントします。

※時間帯別件数・利用者数…利用件数・利用者数の内訳になります。

1つの団体が時間帯をまたいで利用した場合は、時間帯ごとにそれぞれ1件とカウントしてください。

平成25年度 老人いこいの家利用状況

老人いこいの家・開所日数

名称	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登戸	25	24	25	26	27	23	26	24	23	23	23	25	294
長尾	25	24	25	26	27	23	26	24	23	23	23	25	294
枅形	25	24	25	26	27	23	26	24	23	23	23	25	294
錦ヶ丘	25	24	25	26	27	23	26	24	23	23	23	25	294
南菅	25	24	25	26	27	23	26	24	23	23	23	25	294
菅	25	24	25	26	27	23	25	24	23	23	23	25	293
中野島	25	24	25	26	27	23	26	24	23	23	23	25	294

上段は団体利用人数・中段は団体利用数・下段は個人利用人数

名称	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登戸	454	474	432	343	190	337	361	402	308	387	420	410	4,518
	38	39	34	34	19	33	33	33	28	30	35	38	394
	215	190	198	200	181	173	256	188	183	159	179	194	2,316
長尾	398	379	665	350	315	455	414	453	430	363	418	529	5,169
	35	33	38	34	32	39	37	37	34	34	36	40	429
	201	217	254	271	233	246	237	232	250	264	238	238	2,881
枅形	431	524	543	448	331	397	568	451	385	396	373	483	5,330
	37	42	46	40	31	39	43	36	35	35	36	42	462
	267	317	299	329	243	233	243	205	253	272	183	240	3,084
錦ヶ丘	344	286	346	348	226	442	484	397	333	301	306	316	4,129
	33	32	33	35	22	40	36	34	31	33	29	34	392
	462	404	480	504	372	450	583	442	473	397	365	476	5,408
南菅	982	818	1,030	979	784	904	988	800	807	812	770	913	10,587
	82	75	82	81	67	76	85	72	68	68	68	78	902
	558	438	478	496	454	470	502	742	396	447	435	444	5,860
菅	818	761	773	838	763	771	1,007	774	675	700	635	903	9,418
	76	72	72	81	72	71	69	72	63	68	64	87	867
	323	306	309	337	304	339	353	307	271	307	270	349	3,775
中野島	718	869	890	799	722	831	793	858	727	690	756	996	9,649
	40	44	49	41	37	42	42	47	38	35	39	50	504
	419	394	375	444	394	300	388	384	427	383	364	428	4,700

平成25年度 老人いこいの家教養講座開催状況

上段数字は参加人数、下段数字は開催回数

名称	教養講座	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登戸	若孝会	34 2	28 2	33 2	34 2	30 2	27 2	31 2	34 2	26 2	31 2	15 1	38 3	361 24
	フォークダンス	36 2	14 1	31 2	31 2	18 1	16 1	29 2	14 1	32 2	17 1	30 2	16 1	284 18
	絵手紙	4 1	9 2	7 2	8 2	8 2	12 3	9 2	10 2	8 2	9 2	10 2	13 2	107 24
	俳句	5 1	5 1	5 1	0 0	0 0	0 0	6 1	5 1	0 0	0 0	6 1	5 1	37 7
長尾	書道	6 1	8 1	9 1	8 1	7 1	9 1	6 1	7 1	9 1	8 1	8 1	9 1	94 12
	うたう会	21 1	25 1	24 1	25 1	21 1	33 1	25 1	31 1	39 1	65 2	52 2	57 2	418 15
	詩吟	0 0	2 1	8 2	9 2	7 2	11 2	8 2	7 2	8 2	6 2	8 2	4 1	78 20
	ペン習字	0 0	13 1	36 2	38 2	0 0	35 2	36 2	27 2	32 2	33 2	31 2	30 2	311 19
枳形	体操	56 4	49 3	30 3	41 4	39 4	36 3	31 3	33 3	22 3	28 4	26 3	16 2	407 39
	踊り	13 2	6 1	12 2	11 2	12 2	6 1	10 2	10 2	6 1	11 2	5 1	11 2	113 20
	パッチワーク	4 2	5 1	8 2	10 2	0 0	6 2	3 1	6 1	0 0	4 1	8 2	8 2	62 16
	ペン習字	0 0	22 2	28 2	23 2	0 0	24 2	24 2	29 2	30 2	30 2	23 2	28 2	261 20
錦ヶ丘	練功	39 2	46 2	50 2	41 2	12 1	23 1	21 1	32 2	19 1	24 1	31 2	38 2	376 19
	フラダンス	21 2	20 2	22 2	21 2	13 1	24 2	24 2	28 2	28 2	28 2	13 1	30 2	272 22
	童謡	54 2	47 2	55 2	60 2	0 0	31 1	56 2	22 1	53 2	51 2	48 2	50 2	527 20
	ぬり絵	20 2	10 1	23 2	15 1	24 2	11 1	21 2	13 1	28 2	23 2	23 2	26 2	237 20
菅	カラオケ	103 3	95 3	85 3	90 3	85 3	101 3	96 3	86 3	89 3	92 3	58 2	104 3	1084 35
	太極拳	73 3	69 3	68 3	73 3	63 3	74 3	72 3	65 3	65 3	45 2	66 3	71 3	804 35
	金曜フラダンス	22 2	18 2	22 2	20 2	19 2	19 2	22 2	17 2	11 1	28 3	8 1	19 2	225 23
	水曜フォークダンス	68 3	65 3	63 3	71 3	70 3	70 3	84 4	66 3	44 2	70 3	65 3	66 3	802 36

平成25年度寄付金配分一覧

(単位:円)

項目	配分先	配分額	項目	配分先	配分額
第6種会員（障害者等当事者団体）への活動助成金	多摩区身体障害者児団体協議会	15,000	第7種会員（たまわかくさ）への活動助成金	たまわかくさ（多摩区当事者・ボランティア連絡会）	110,000
	多摩区肢体障害者協会	15,000		小 計	
	川崎市視力障害者福祉協会多摩支部	15,000		第7種会員（ボランティアグループ）への活動助成金	たすけあい多摩
	多摩区聴覚障害者協会	15,000	手話サークル山びこ		15,000
	多摩区肢体不自由児者父母の会	15,000	手話サークル多摩の会		15,000
	多摩区母子寡婦福祉会	15,000	コスモスの会		15,000
	川崎育成会手をむすぶ親の会多摩支部	15,000	コスモスの家		15,000
	泰山木の会	15,000	てづくりおもちゃの会ありんこ		15,000
	はぐるま共同作業所	15,000	専修大学「樹々の会」		15,000
	川崎きた作業所	15,000	じゃりんこクラブたま		15,000
	はぐるま共働学習ホーム	15,000	なごみトイライブラリー		15,000
	第2はぐるま共働学習ホーム	15,000	たまふくし協力会		15,000
	多摩みのりの会	15,000	ひっきいず		15,000
	はぐるま菅工舎	15,000	傾聴ボランティアきぼう		15,000
	多摩ワークショップ	15,000	(特非)ウィメンズハウス花みずき		15,000
	いずみホーム	15,000	ゆきわり草		15,000
	川崎断酒新生会多摩支部	15,000	運転ボランティアグループ「多摩21」		15,000
	第4はぐるま共働学習ホーム	15,000	小 計		225,000
	地域活動支援センター紙ひこうき	15,000	指定寄付		菅地区社会福祉協議会
	グループホーム すみれ	15,000		小 計	29,600
	第2はぐるま共同作業所	15,000	合 計	694,600	
あぐりホーム	15,000				
小 計	330,000				

平成25年度 生活福祉資金 延べ相談件数

資金の種類	制度内容問い合わせ			貸付相談			償還相談			資金ごと 合計
	面接	電話	その他	面接	電話	その他	面接	電話	その他	
総合支援資金	13	78	0	39	257	32	4	58	20	501
臨時特例つなぎ資金	1	0	0	1	5	0	0	0	0	7
緊急小口資金	9	65	0	28	202	17	0	27	39	387
福祉資金・ 教育支援資金	9	85	0	66	314	51	7	120	60	712
不動産担保型 生活資金	3	2	0	2	9	0	0	0	0	16
生活福祉資金以外 の相談	2	22	0							24
小計	37	252	0	136	787	100	11	205	119	
合計	1647									

日常生活自立支援事業実施状況

(平成25年4月～平成26年3月分)

1 相談件数

	電話	来所	訪問	その他	合計
初回相談(実人数)	58	10	0	0	68
継続相談(延件数)	2082	177	361	166	2786
合計	2140	187	361	166	2854

2 対象者性別・年齢内訳(初回相談)

	20歳未満	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	65歳～	70歳～	80歳～	90歳～	不詳	合計
男		2	3	6	3	5	2	14	3			38
女	2	6				1	4	5	8	2		28
不詳			1				1					2
合計	2	8	4	6	3	6	7	19	11	2	0	68

3 相談内容

(実人数/初回相談)

	高齢者		知的 障害者	精神 障害者	身体 障害者	その他	合計
	認知症	その他					
日常的金銭管理	14	17	15	10	1	0	57
証書等預かり	1	0	0	0	0	0	1
本事業問合せ	0	0	0	0	0	0	0
成年後見問合せ	2	2	1	1	0	1	7
相続・遺言	0	0	0	0	0	0	0
財産侵害	0	0	0	0	0	0	0
人権侵害(虐待等)	0	0	0	0	0	0	0
消費・金融・契約	0	0	0	0	0	0	0
労働・就労関係	0	0	0	0	0	0	0
施設関係	0	0	0	0	0	0	0
今後の生活設計	0	0	0	0	0	0	0
保健サービス手続	0	0	0	0	0	0	0
福祉保健問合せ	0	0	0	0	0	0	0
福祉サービス手続	0	0	0	0	0	0	0
福祉サービス苦情	0	0	0	0	0	0	0
介護・医療事項	0	0	0	0	0	0	0
代弁行為	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	1	0	1	0	3
合計	17	20	17	11	2	1	68

(延べ件数/継続相談)

	高齢者		知的 障害者	精神 障害者	身体 障害者	その他	合計
	認知症	その他					
日常的金銭管理	250	431	1047	502	81	0	2311
証書等預かり	0	4	14	0	7	0	25
本事業問合せ	0	0	0	0	0	0	0
成年後見問合せ	5	6	17	6	0	0	34
相続・遺言	0	2	0	0	0	0	2
財産侵害	0	0	1	0	0	0	1
人権侵害(虐待等)	0	0	0	2	0	0	2
消費・金融・契約	1	7	11	1	3	0	23
労働・就労関係	0	0	1	0	0	0	1
施設関係	0	0	0	0	0	0	0
今後の生活設計	0	2	25	6	4	0	37
保健サービス手続	0	2	0	5	3	0	10
福祉保健問合せ	0	2	0	1	0	0	3
福祉サービス手続	3	11	1	6	0	0	21
福祉サービス苦情	0	1	0	0	0	0	1
介護・医療事項	7	30	11	25	5	0	78
代弁行為	1	3	0	0	0	0	4
その他	24	30	101	66	12	0	233
合計	291	531	1229	620	115	0	2786

4 書類等預かりサービス利用状況

	申込件数	契約件数	終了件数	H26年3月末 現在利用者数
24年度	2	3	3(1)	9(1)

()は生活保護受給者数

5 利用援助・日常的金銭管理サービス利用状況

	申込件数	契約件数	終了件数	H26年3月末 現在利用者数
24年度	19(14)	17(12)	16(11)	88(68)

()は生活保護受給者数

6 サービス利用者内訳

	高齢者	身体障害者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
書類等預かりサービス	4(1)	2(0)	1(0)	2(0)	0	9(1)
金銭管理サービス	30(22)	7(3)	35(31)	16(12)	0	88(68)

()は生活保護受給者数

7 サービス終了者内訳

	死亡	利用者からの中止申し出		区外転出	後見人選任	その他	合計
		中止申し出	施設入所				
書類等預かりサービス		1		1	1		3
金銭管理サービス	1	6		4	4	1	16
合計	1	7	0	5	5	1	19

8 専門員・生活支援員活動状況

		担当利用者数 (実数・人)	訪問回数 (延べ)	生活保護受給者 利用者数 (担当利用者の内訳)
専門員	書類等預かりサービス	18	9	0
	金銭管理サービス	773	303	588
生活支援員	金銭管理サービス	1040	2363	781